



ZERO CARBON CITY TOKOROZAWA



まちごとゼロカーボン市民会議（第2回）
2022年9月25日

テーマ：商品選択からゼロカーボンを考える

グループワーク 結果の説明

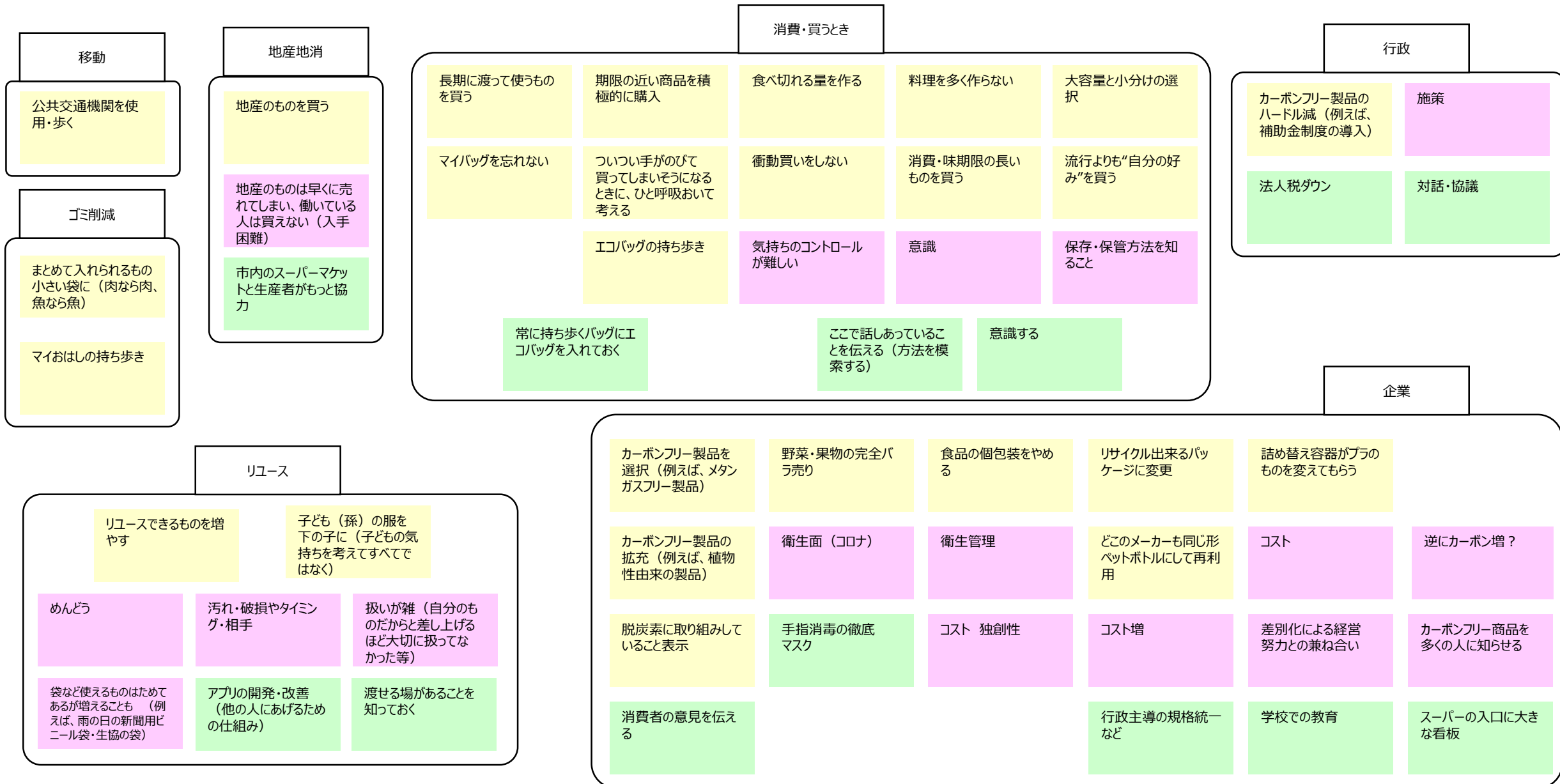


- ※ 黄色のポストイットは「取り組んだ方が良いこと」を書いたものです
- ※ 桃色のポストイットは「取り組むにあたっての課題」を書いたものです
- ※ 緑色のポストイットは「課題への方法（対策）」を書いたものです
- ※ 柿色のポストイットは、会議中もしくは会議後に補足説明するために加えたものです
- ※ 水色の番号①～③は、グループがイチオシする「課題への方法（対策）」です。発表にあたって優先順位をつけました。議論の進捗状況により、優先順位がついていないグループもあります。

マチごとゼロカーボン市民会議（第2回）

テーマ：商品選択からゼロカーボンを考える

グループ1



マチごとゼロカーボン市民会議（第2回）

テーマ：商品選択からゼロカーボンを考える

グループ2



買い方

ソースやドレッシングは使い切りのものを買う	環境に優しい家電を選ぶ(効率のよい)	買う時によく考える！
一回一回のゴミは増えてしまう	選び方が分からない	消費期限が迫っているものを優先的に選ぶ
自分で作る。作り方を 知る	質が良いものは、その分高い	いつも使う（長くもつ）ものは、多く買う
		※大容量のものを買うことで、容器のプラスチック使用量が減り、CO ₂ 削減になる
	価格が…高い…	ムダなものは買わない。衣・食・住（ライフサイクルを固定にする）

地産地消

地産地消→運送を減らす	地元のものを買う	スーパーで地元野菜のものをえらぶ
わかりやすい表示があると良い！！	価格が高い	食べられる物が限られる（サツマイモとほうれん草など）

デジタル技術の活用

デジタル化（？）→ノートからタブレットやPCにメモして、紙からデータに	やっぱり、紙好きの人がいる。デジタルを扱うのは、むずかしい	苦手な人もいる！？	PCができない。紙の方が、あつかいやすい
パソコンセミナー			

旬の食材を選ぶ

旬の食材を選ぶ	農産物がどうやって作られたかを書いてほしい
何が旬なのかのかわかりにくい	

つめかえ

つめかえ用のものを利用する	つめかえて容器を使う
つめかえる手間！？	容器が汚れると使いにくい

エコバッグ

エコバッグ	エコバッグマイバスケット	
ごみ袋が不足	持ち歩くのが面倒…忘れちゃったり…	生産事業者（バッグ）
エコバッグ貸し出し		

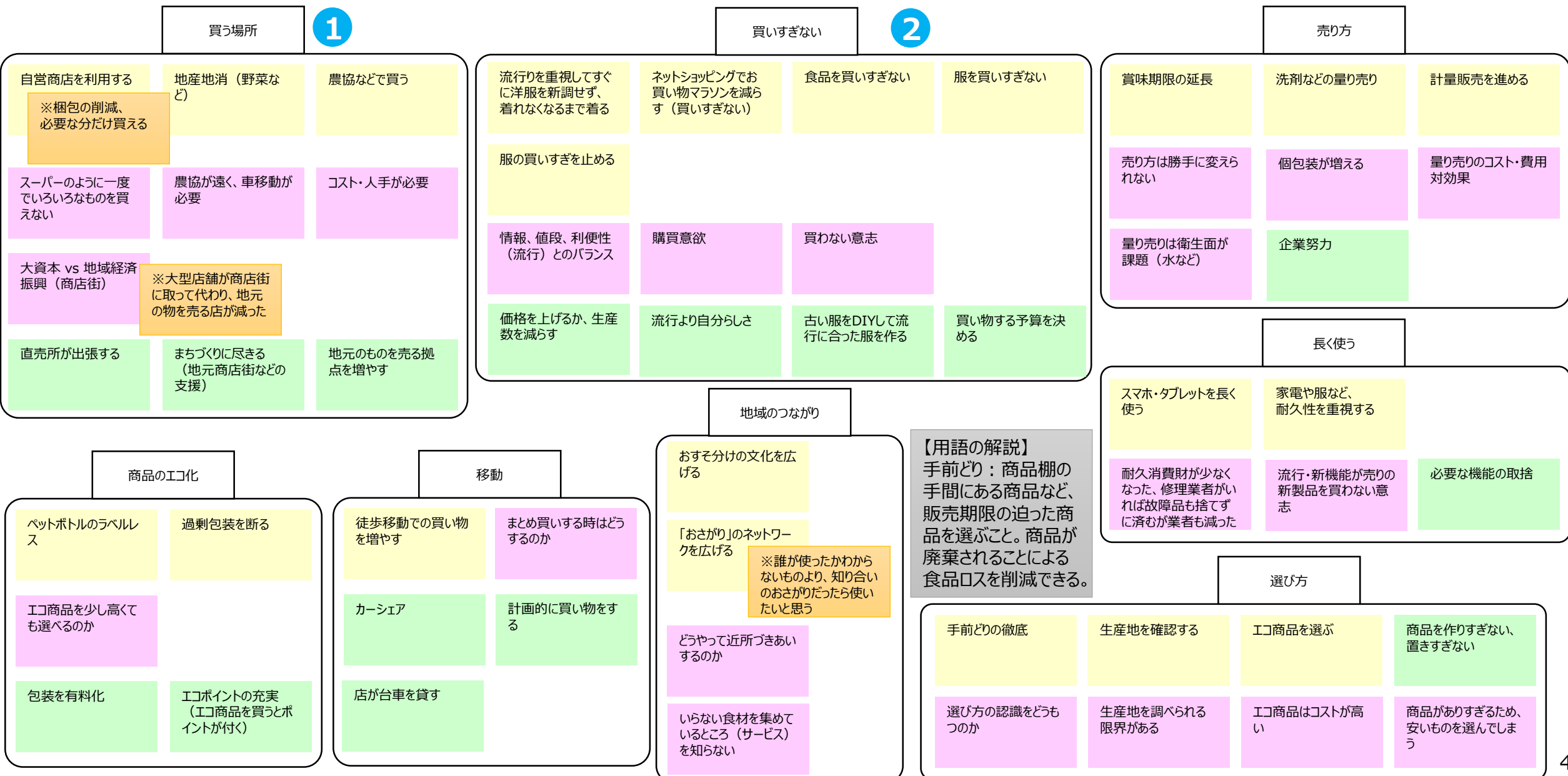
リユース

フリマ
どこで開催されるか分からない
SNSで情報発信（どこで）。トコろんSNS

マチごとゼロカーボン市民会議（第2回）

テーマ：商品選択からゼロカーボンを考える

グループ3



マチごとゼロカーボン市民会議（第2回）

テーマ：商品選択からゼロカーボンを考える

グループ4

リサイクル商品

リサイクル商品を買う	長期間使用できるものを選択する	最後まで使い続ける
中古商品を選択する	途中で新しいものが欲しくなる	使用している途中で無くしてしまう
汚れているものもあるといった、衛生面での課題	アフリカでの服のリサイクル問題。リサイクルって何？	※発展途上国へのリサイクル商品や中古商品の譲渡問題（譲渡先の廃棄処分） 先進国が一方的に、中古品（衣類など）を押し付けている現状
リサイクルタグの開発 1	リサイクル商品であるかどうかを見極めることも大切	

購入時の工夫

商品購入時の「てまえどり」を実践する	地産地消を意識した購入選択	流行に流されない商品選択
賞味期限が近いものから購入をする	購入したいものが売っていない	商品に対する嗜好も大切にしたい
コンビニと違い、大型店の商品陳列が難しい（棚の奥から陳列ができない）	新しいものが欲しくなる	生ゴミ減少にも限界がある
商品の陳列方法を工夫する	レシピを充実させ、限られた食材で調理する	生ゴミ処理機といった家電の充実

必要なものを購入

不要なものを購入しない	本当に必要かどうかを考える	食べ切れる量を選択する
無駄なものを購入しない		目安が分からない
本当に必要最低限で済むのか		目安が分かるように、商品にラベルなどで記入や表示をする
メモをする		整理・整頓を心がける

啓発・教育

取り組みの認知度を高める	市民にどのように広めるのか	学校教育に取り入れる 2
地域コミュニティ・家庭・教育の場において、SNSを活用する	情報処理や選択の意識向上を図る	

企業の取り組み

バイオ素材の活用	コストがかかる	利益追求と環境配慮のバランスが重要
デポジットを導入する		

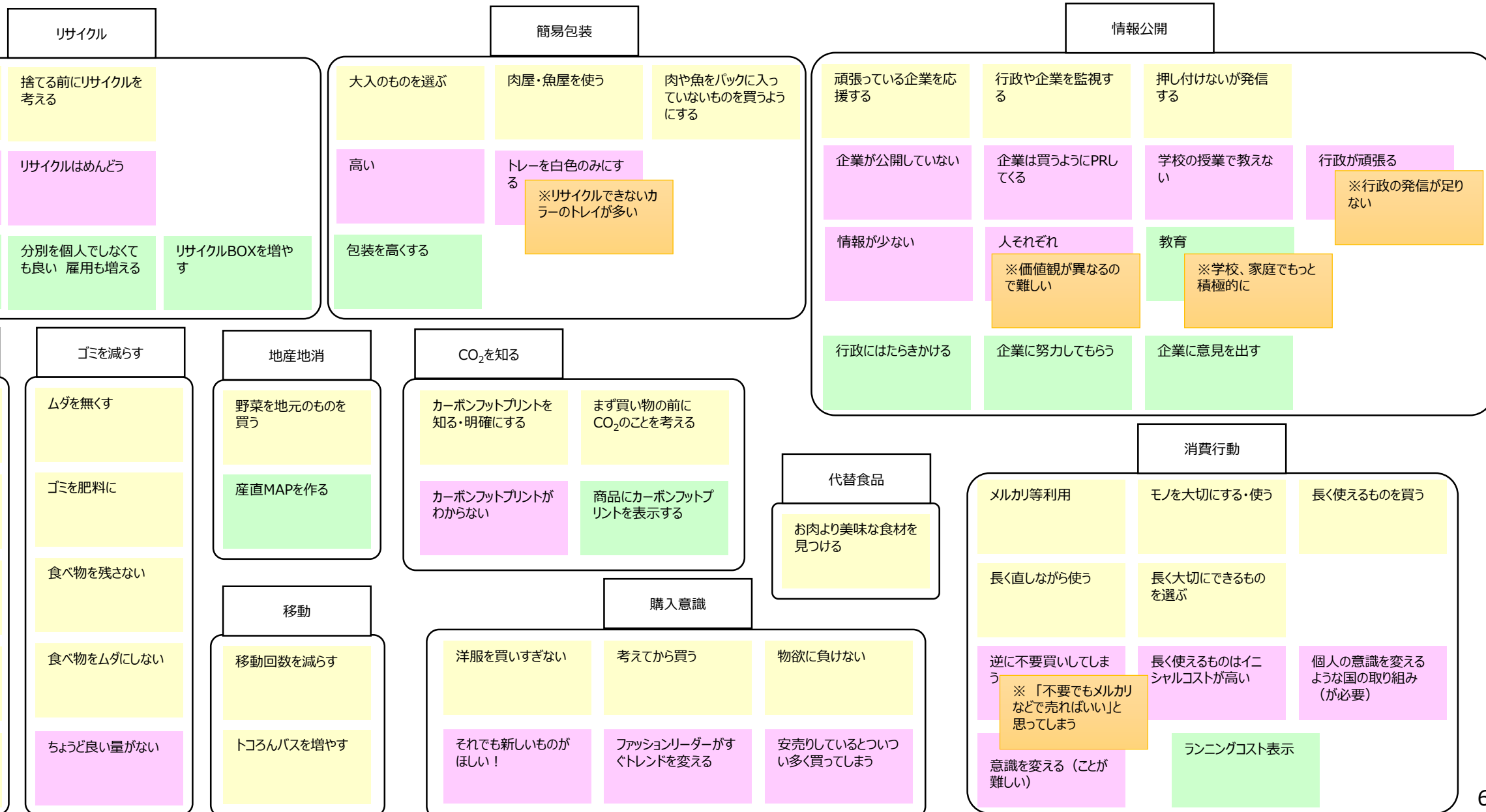
【用語の解説】

手前どり：商品棚の手間にある商品など、販売期限の迫った商品を選ぶこと。商品が廃棄されることによる食品ロスを削減できる。

マチごとゼロカーボン市民会議（第2回）

テーマ：商品選択からゼロカーボンを考える

グループ5



マチごとゼロカーボン市民会議（第2回）

テーマ：商品選択からゼロカーボンを考える

グループ6



リサイクル

リサイクルショップの活用	古市やリサイクルショップを利用する	洋服・カバンなどは、長く使うか、リメイク・修理する
ショップに持っていく手間	古い物ではなく、新しい物が欲しい！！	中古品への抵抗
洋服・カバンなどを長く使った場合、サビてきたり、よれてきたりしてしまふと思う…	流行・時代おくれ？	リサイクルショップで引き取れない物はゴミ？になる…
使っていた物がどうかわれるか心配	引き取りに関する基準等の情報提供 2	どんなものでも、引き取ってもらえる体制

容器削減

自宅用であれば、大袋のお菓子をえらぶ	容器がくり返し使える商品を選ぶ。（例えば、シャンプー、油、洗剤など…）	マイボトルを用いたジュース等の販売
洗剤などはかり売り。容器だけお店に持っていく！	マイボトル使用	環境負荷の少ないものを選ぶ（脱プラスチック）
値段が高い		

エネルギー削減

ティッシュペーパーは漂白されていないが良い（再生紙など良い）	省エネ性能の高いものを選ぶようにしたい	旬の食べ物を買う
エコ家電への買い替え	エコ家電への買い替え	
エコ家電=高い？見極めが難しい	買い替えるお金がちょっとムダ	家電は、最新のものを買ったとしても、数年で、より良いものが出てしまう
フットコ事情も選択に影響する	購入金額	補助金など購入者が得をする制度導入 1

食品ロス削減

消費期限の短いものを選ぶようにしたい	傷み具合が気になる。早く消費しないといけない	値引き商品しか売れなくなる
少しでも使用の余裕（自由）が欲しい	自分が消費するのにかかる日数を把握する 3	

輸送コスト削減

メルカリ商品、近所の出品者を選ぶ	輸送コストの低い商品を選ぶ	メルカリの欲しい物が近所だけとは限らないと思う
輸送コストの低い物 = 欲しい物ではないと思う	店頭 vs 通販、どちらが低コストかわからない	情報公開、要求 2
		※削減効果を判断できるための情報が必要

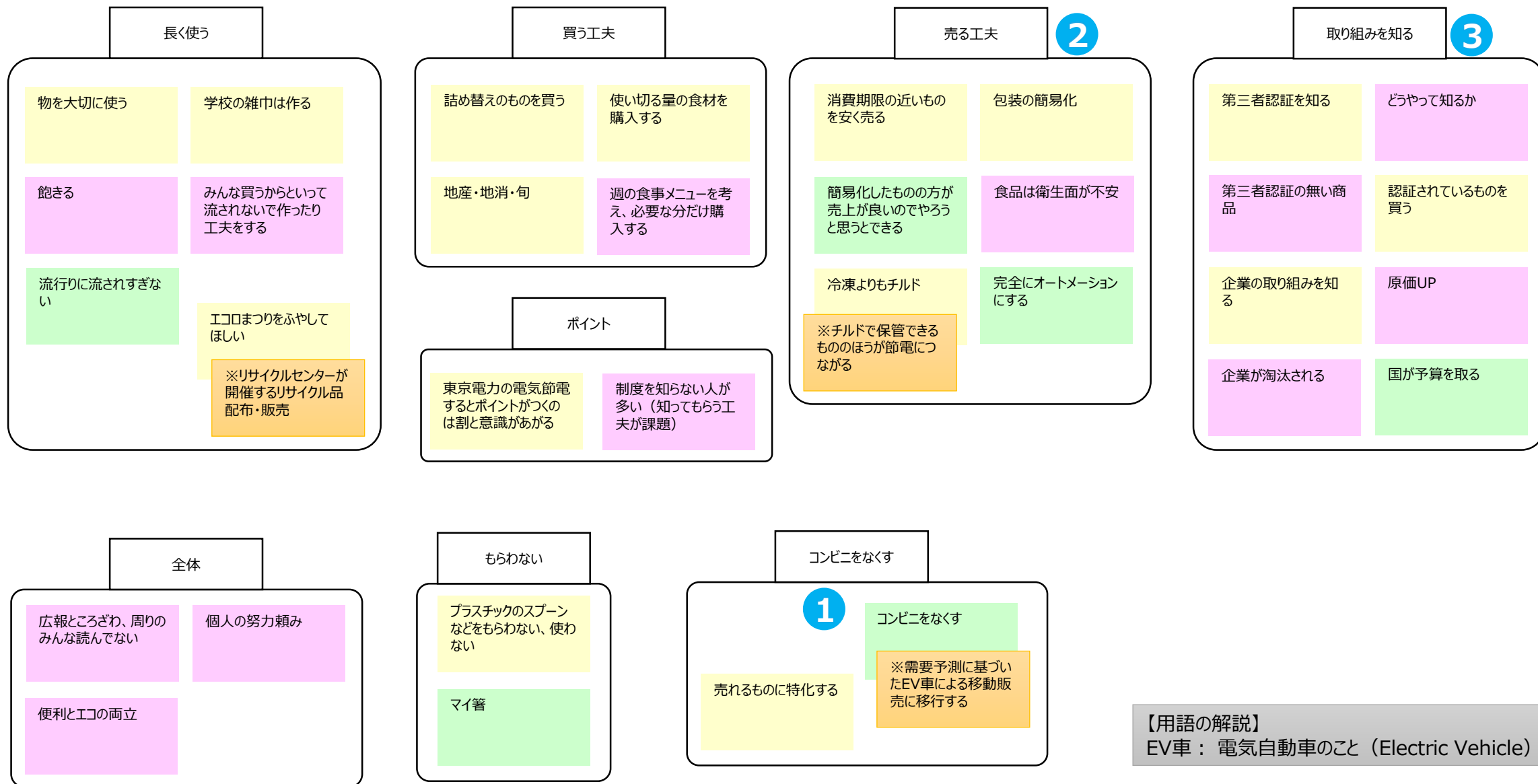
長く使用

家具等を長く使うためにも良い物（少し高い物）を買う	長く使用できる商品	長く使っていける、あきないものを購入するようにしたい（多少高価でも）
値段が高い		

マチごとゼロカーボン市民会議（第2回）

テーマ：商品選択からゼロカーボンを考える

グループ7



マチごとゼロカーボン市民会議（第2回）

テーマ：商品選択からゼロカーボンを考える

グループ8

新しい考え方

容器の工夫 ※地域共通で使えるもの	不良品を購入できる場があるといい ※野菜等の規格外品
何度も使える容器は案外使いにくかった	コストと手間がかかる 農家の人の収入にかかわる（？） 野菜の値段が下がってしまう
規格の統一 3	森から出るような竹の皮、廃材等、自然のものを利用する 捨てる野菜は加工品にして価値を高める
図書館の本の回収みたいにコンビニなどで回収できればいいな	規格にこだわらず商品として成立するようにする 2

見える化

リサイクル材料（原料）の割合表示	産地表示	陳列されるまでのCO ₂ 総量の表示	冷蔵庫横に貼れるマグネットで共有 ※CO ₂ 対策が書いてあるマグネット
ひと目で分かるマークがあると良い	商品のカーボンフットプリントを見えるようにする	保証期間の明示	
スーパーにコーナーを設けて欲しい	表示が難しいね	CO ₂ を排出せざるをえない職業の妨害になる	
金額が上がる？	店側の販売員への負担が増える	周知って案外難しい	
補助金	企業ごとではなく、周知のための専用の団体を組織する 1	企画決定から施行まで少し時間があつた方がいい	キャラクターで認知度上げる

買う時の心構え

長期使用のため、将来を見ずして商品選択する	賞味期限が近い商品から購入する	ラベルのついてないペットボトル飲料を選ぶ（でも選択肢少ない）
リサイクルに出せる製品か確認してから買う	その日食べる物は、見切り品を選ぶ	
短期間で変えるのは難しい	食料品は消費しきれ分だけ購入する	
電化製品は、やっぱり新品がいいと思う	商品の詳細確認に手間がある	ラベルなしペットボトルの種類を増やして欲しい

企業努力

専用売り場をつくる	買い手が意識しなくてもゼロカーボン対策になっている
納得できる仕組みとなっているのか？	※良い事だけだと理解に時間がかかる

リユース

不用品を家の前に置いて気軽に持ってもらう（第1日曜など曜日を決めると良いのでは）	積極的な再利用をする
市に呼びかけて欲しい	リユースのために物を綺麗に保つことに手間がある

地産地消

地元の産地の物を選ぶ	地元の野菜を選ぶ
産地を日本、地元のものを買う	地産地消だけでは生活できない